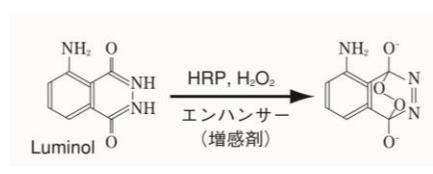
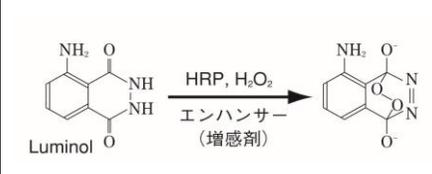


下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。
訂正後の図を下に示します。

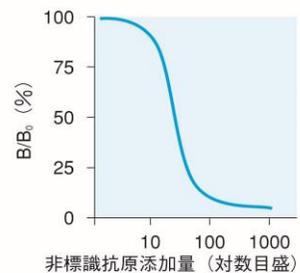
頁	該当箇所	誤	正
188	↑8行目	(iii) ダンシルクロリドと 2,4,6-トリニトロベンゼンスルホン酸	(iii) ダンシルクロリド
188	↑3～1行目	2,4,6-トリニトロベンゼンスルホン酸 (Ⅲ) はアミンと～(中略)～定量に利用されている。	(削除)
189	最上行の図構造式 (Ⅲ)		(削除)
260	図 5-1 グラフ縦軸	B/B ₀ または B/T (%)	B/B ₀ (%)
268	図 5-9 左端の矢印の説明	ハプテン抗体の添加	抗ハプテン抗体の添加
269	図 5-10 最上行 Luminol の構造式		
270	図 5-12		(表現を変更)

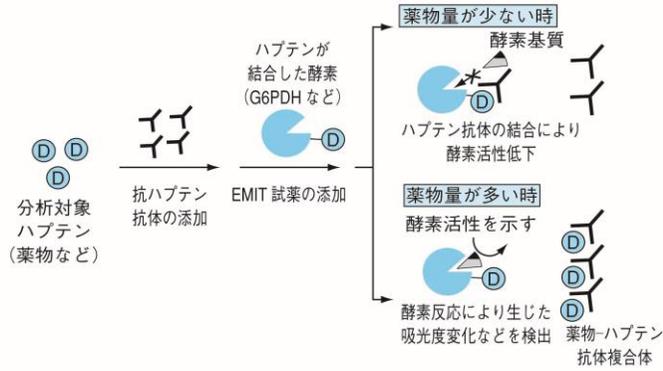
(訂正後の図：図 5-1, 図 5-9, 図 5-10, 図 5-12)

反応系	結合型(B)	遊離型(F)	B/B ₀ (%)	B/T(%)
6 0 4 ▽▽▽▽ ▽▽▽▽ Y Y Y Y	B ₀ = 4 ▽▽▽▽ Y Y Y Y	2 0 ▽▽	$\frac{4}{4} = 100\%$	$\frac{4}{6} = 67\%$
6 2 4 ▽▽▽▽ ▽▽▽▽ Y Y Y Y	B = 3 ▽▽▽▽ Y Y Y Y	3 1 ▽▽▽ ▽	$\frac{3}{4} = 75\%$	$\frac{3}{6} = 50\%$
6 6 4 ▽▽▽▽ ▽▽▽▽ Y Y Y Y	B = 2 ▽▽▽▽ Y Y Y Y	4 4 ▽▽▽▽ ▽▽▽▽	$\frac{2}{4} = 50\%$	$\frac{2}{6} = 33\%$
6 18 4 ▽▽▽▽ ▽▽▽▽ ▽▽▽▽ Y Y Y Y	B = 1 ▽▽▽▽ Y Y Y Y	5 15 ▽▽▽▽ ▽▽▽▽ ▽▽▽▽ ▽▽▽▽	$\frac{1}{4} = 25\%$	$\frac{1}{6} = 17\%$

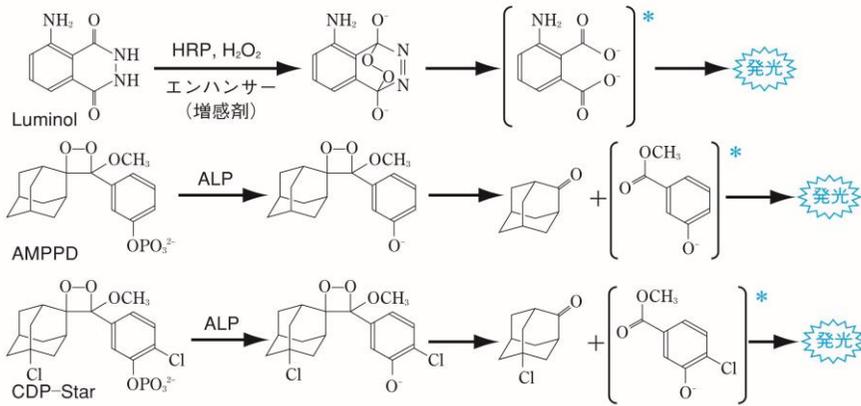
▽は標識抗原, ▽は抗原, Yは抗体, Bは抗体に結合した抗原(▽+▽)の量, B₀は抗原▽を加えないときのBの値, Tは反応系に加えられるすべての標識抗原(▽)の量

◆図 5-1 競合法の原理と標準曲線



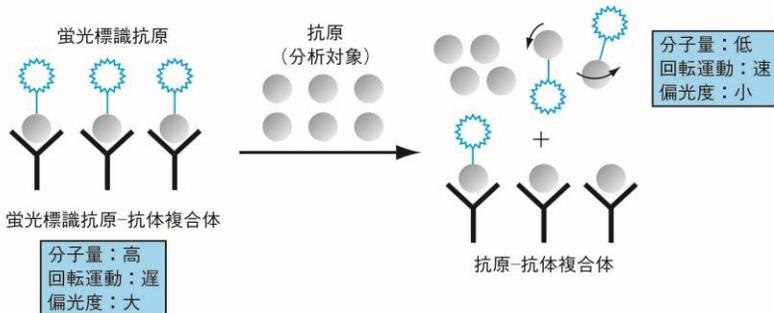


◆ 図 5-9 EMIT 法の原理図



◆ 図 5-10 化学発光酵素免疫測定法における発光メカニズム

* の物質は高エネルギー中間体(励起状態)



◆ 図 5-12 蛍光偏光免疫測定法の原理